

各位

2025年4月7日  
株式会社ROBOT PAYMENT

---

## 個人投資家様から直近いただいた主なご質問及び回答の要約

---

株式会社ROBOT PAYMENT（本社：東京都渋谷区、代表取締役：清久 健也、証券コード：4374、以下当社）は、直近の株価の変動に関して個人投資家様からご質問をいただいております。そのご質問の内容及び当社の回答を下記のとおりまとめましたので、お知らせいたします。

---

【Q1】 株価が大きく下がっていますが、何が要因でしょうか。直近ビジネス環境に変化はありますか？

【A1】 直近の当社の株価の下落は、米国による相互関税の措置を受けた世界経済の先行きについての不透明感による市場全体のリスクオフが要因と考えております。ビジネス環境など当社のファンダメンタルズに大きな変化は起きておりませんのでご安心くださいませ。

---

【Q2】 当社のビジネスは今回の相互関税の影響を受けますか？

【A2】 現時点ではその影響は極めて限定的であると考えております。当社は日本国内の企業向けにサービスを提供しており、当社の顧客も海外売上比率は基本的にはほぼない業種でございます。ゆえに、当社および当社の顧客に対して相互関税が直接的に与える悪影響はほとんどないと現時点では考えております。また、当社は売上高のほとんどがリカーリング収益であり、安定的に売上が積み上がるビジネスモデルでございます。参考資料P89～P99を参照ください。

（参考URL：[https://ssl4.eir-parts.net/doc/4374/tdnet/2563517/00.pdf?\\_fsi=Pef6dbnE](https://ssl4.eir-parts.net/doc/4374/tdnet/2563517/00.pdf?_fsi=Pef6dbnE)）

---

【Q3】 為替の急激な変動や金利低下などが悪影響を及ぼす可能性はありますか？

【A3】 当社は輸出入に関わるビジネスではないため、為替変動や金利低下の直接的な悪影響はございません。

---

【Q4】 今期の業績予想に下方修正リスクはありますか？

【A4】 ございません。現時点で、業績予想を見直す要因はなく、通期の見通しに変更はございません。

---

【Q5】 今回の相互関税が株主還元を与える影響はございますでしょうか？

【A5】 上記で述べたとおり、当社への影響は現時点においてほぼないと考えており、すでに開示済みの配当性向、配当金の下方修正などはございません。中長期的な株主価値の向上を目指しており、今後も安定した株主還元を実施してまいります。

---

## ■会社概要

社名 : 株式会社ROBOT PAYMENT (東証グロース : 4374)

所在地 : 東京都渋谷区神宮前6-19-20 第15荒井ビル4F

設立 : 2000年10月

代表 : 代表取締役 清久 健也

URL : <https://www.robotpayment.co.jp/>

請求管理ロボ : <https://www.robotpayment.co.jp/service/mikata/>

請求まるなげロボ : <https://www.robotpayment.co.jp/service/marunage/>

サブスクペイ : <https://www.robotpayment.co.jp/service/payment/>

1click後払い : [https://www.robotpayment.co.jp/service/1click\\_atobarai/](https://www.robotpayment.co.jp/service/1click_atobarai/)

▼メールマガジン・LINE公式アカウントで各種情報を配信しています

### メールマガジン

- ・すべての適時開示・PR情報をリアルタイムにお知らせ
- ・登録はこちら : <https://www.magicalir.net/4374/mail/>

### LINE公式アカウント

- ・主要ニュースリリース (解説コメント付き)、イベント案内・セミナー出演のお知らせ等
- ・IR担当者とチャットで質問・お問い合わせのやりとり
- ・登録はこちら : <https://lin.ee/keiczv9>

### 【本リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社ROBOT PAYMENT

担当者 : IR 菊地

tel : 03-5469-5780 mail : [pr@robotpayment.co.jp](mailto:pr@robotpayment.co.jp)